

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

パーパス

小麦の持つ無限の可能性で、世界の多様なニーズに挑戦し続ける

連結純利益
45億円連結ROE
8.0%以上基礎収益
30億円以上GHG削減比率
50%

② 中長期の経営戦略

1. 既存事業の拡大

製粉挽砕増による拡販、マーケティング活動強化、末端到達力強化を推進

3. 海外事業拡大

タイ・ベトナム子会社によるミックス粉需要対応、二拠点連携での生産最適化

2. 収益性向上

グループ企業連携強化、生産拠点最適化・効率化、物流体制効率化、原料調達最適化

4. DX推進と新事業

ECプラットフォーム構築、業務電子化・効率化、ポートフォリオ再構築による領域拡大

③ 対処すべき課題

① 経営環境の不確実性

- ・ 地政学リスク、原材料・エネルギー価格高止まり、為替変動への対応
- ・ 小麦粉市場の縮小均衡基調、コスト上昇による需要変化への対応

② 食品安全体制強化

- ・ 2024年10月のプレミックス粉異物混入事案の再発防止体制整備
- ・ 食品安全への意識再構築、お客様信頼回復

③ グループシナジー拡大

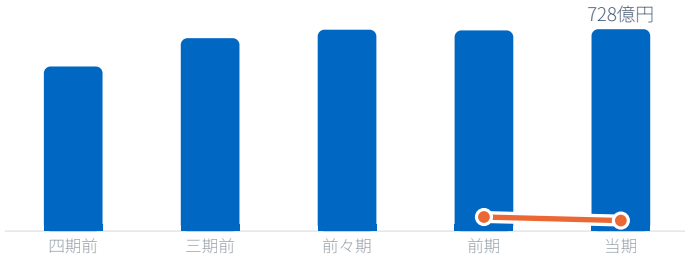
- ・ 三菱商事グループ各社との連携強化
- ・ 増田製粉所との開発・営業面でのシナジー効果拡大

面接で使えるポイント

- ・ 創業110周年を機に2024年度～2026年度の新中期経営計画を公表し、新たな経営ステージに突入した企業
- ・ タイ・ベトナムなど成長市場でのミックス粉需要対応で海外事業拡大を推進中
- ・ 2030年のGHG50%削減達成、女性管理職比率向上など非財務目標も設定

証券コード 2003

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
728億円営業利益率
5.2%財務健康度
69点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 54.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収
656万円

食料品内 59位/120社

平均年齢
41.1歳

食料品内 63位/121社

平均勤続
16.0年

食料品内 47位/121社

女性管理職
10.6%

食料品内 57位/106社

男性育休
75.0%

食料品内 62位/92社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 日東富士製粉(株)【2003】：決算情報

